

2009年10月23日(金) 西日本新聞 朝刊に掲載されました。

2009年(平成21年)10月23日 金曜日

西日本新聞

元衆院議員の故河野正氏足跡

次男が個人史出版

党派超えた交友など紹介

元衆院議員の故河野正氏の足跡をしるした個人史「学者如登山(学ぶ者、山に登るが如し)」を次男の病院理事長河野正美さん(48)が福岡市中央区

が自費出版した。

終戦直後、篠栗町に病院を開いた正氏は県議を経て、中選挙区時代の福岡1区で当時の社会党から立候補。1955年から通算8期約22年、国政で活躍した。90年に引退後は、専門の精神医療や政治問題の執筆活動に励み、2007年に93歳で逝去した。

個人史(A4判、145頁)は正氏の青年時代から晩年までを、アルバムに残る約300枚の写真、著作や新聞記事などで振り返っている。

軍医の体験から「反戦、平和」の思いを強くし、終戦後に政治を志した正氏は、国政では一貫して福祉の充実尽力。党派を超えた交友もあり、故佐藤栄作首相の官邸に太宰府の梅ヶ枝餅を届け、若手議員だった故橋本龍太郎首相とはバブアニューギニアに遺骨収集に出掛けたエピソードなどが

本で紹介されている。

正美さんは「政権交代した日本の今を、父は彼岸からどう見ているのか、個人史を開くたびに思います」と言う。

問い合わせは河野病院 092(947)0611。



元衆院議員、故河野正氏の個人史を出版した、次男の正美さん